



第2弾

交流・共同学習推進事業 Special プロジェクト 2020 in 大阪府立たまがわ高等支援学校

「東山高校バスケットボール教室」

今年度、本校は文科省が推進する「交流及び共同学習推進事業」のモデル校に選ばれ、障がいのあるなしに関わらず、スポーツを通じて交流をはかり相互理解を深める取り組みをすることになりました。

その第2弾として、12月10日（日）に今年度、インターハイベスト8【昨年度、インターハイ・ウィンターカップ準優勝】の東山高校バスケットボール部の田中幸信監督と選手16名をお招きして、「バスケットボールクリニック」を本校で行いました。当日は天王寺高校、金剛高校の交流生を招待し、本校生を含めて約80名でバスケットボールを通じ、交流を行いました。縄跳びやラダー・ミニハードルを使ったトレーニングやドリブル・シュートなどの個人技の高めるファンダメンタルトレーニング等を行い、みっちりと身体を動かしました。

交流中には、昨年度ウィンターカップで男子ベスト5に選ばれたパトリック選手（身長206cm コンゴ共和国からの留学生）やクリスティン選手（身長205cm コンゴ共和国からの留学生）の豪快なダンクを目の前で見ることができ、歓声が沸きあがりました。閉講式では田中幸信監督より、熱いメッセージをいただきました。参加してくれた生徒の感想は好評で「とてもためになったので、今後の練習に生かしたい」「田中先生の講話がとても心に残った」「東山の選手の練習を見ることができ、よい経験になった」「第2弾もやってほしい」「（たまがわの生徒と交流をして）バスケが好きという気持ちはかわらない。また交流したい。」という声も聞かれました。

今年度中にあと1回、1月21日（土）にバルセロナとアトランタオリンピックに日本代表として出場をされた水井妃佐子さんを講師としてお招きして、バドミントンを通して交流学习を実施いたします。

PHOTO REPORT



東山高校バスケットボール部の皆様



田中幸信監督



ファンダメンタルトレーニング



縄跳びを使ったトレーニング

NEXT



1/21 sat

BADMINTON